

## 第六十二回 総会・研修会宣言文

北海道小学校長会は、結成以来、北海道小学校教育の充実・発展のため、心豊かでたくましい子どもの育成に鋭意努力を続け、組織の総力を傾注して研究と実践を積み重ねるとともに、積極的な施策提言や要望活動を通し教育条件の整備・充実に努め、多くの成果をあげてきた。

今日、我が国は、知識・情報・技術の加速度的な変化の中、グローバル化の一層の進展とともに、急激な少子高齢化が進み、先を見通すことが難しい時代となっている。そのような社会の激しい変化に対応し、持続可能な社会への転換を図るために、自立・協働・創造の三つを実現する生涯学習社会の構築が求められている。一方、教育改革は未来を見据えて急速に展開しており、新しい時代の要請に応える学校教育の在り方と方策が盛り込まれた新学習指導要領の全面実施への確実な取組が進んでいる。

こうした中において、学校においては、校長の明確なビジョンと鋭い時代感覚の下、組織の活性化を図り、確かな学力と豊かな心、健やかな体などの調和を重視する「生きる力」を育む教育課程の編成・実施・評価・改善に努めなければならない。また、きめ細かで質の高い指導の充実、地域全体での学びの促進などにより、自立した人間として、多様な人々と協働しながら創造的に生きていくために必要な資質・能力を育成することが求められている。さらに、被災三県等の継続的な支援や北海道胆振東部地震での教訓を生かした学校安全教育の充実、いじめ・不登校等の生徒指導、教職員の資質・能力の向上、学校における働き方改革、とりわけ子どもと向き合う時間の確保や教員の過度な長時間勤務の改善など、山積する緊急かつ重要な課題に対応していかなければならない。

このときにあたり、われわれ校長は、強い使命感をもち、指導力を発揮して、教職員の力量を高め、活力ある学校づくりを進めなければならない。同時に、学力・体力の向上やいじめ防止など、本道教育の抱える喫緊の課題の解決を図る必要がある。これらのことを踏まえ、「ふるさとの地から世界を見つめ 新しい社会の形成に向けて挑戦する子どもを育てる」学校経営の推進を図るため、「未来を見据え、チーム北海道として進む道小」を掲げ、各地区校長会や関係機関等との連携をより一層強化し、全道的な取組を通して課題解決に努め、以て、道民の信託に応えようとするものである。

本会は、ここに会員の総力を結集して、左記事項の実現に全力を尽くすことを、第六十二回北海道小学校長会総会・研修会の総意をもって宣言する。

### 記

- 一、英知と情熱を傾けて、教育の場に信頼と秩序を確立し、活力ある学校経営の推進に努める。
- 一、個性を生かし、心豊かにたくましく生きる力の育成を目指す「社会に開かれた教育課程」の編成・実施・評価・改善に努める。
- 一、学力・体力の向上を図るとともに、これからの知識・情報・技術の加速度的な変化等に対応した実践的な力の育成に努める。
- 一、深い児童理解による時代に対応した生徒指導の充実と特別支援教育の充実に努める。
- 一、校長自らがその責務を自覚し研鑽に励むとともに、指導性を発揮して教職員の資質・能力の向上に努める。
- 一、家庭・地域社会との連携を密にした児童の安全・安心を保障する体制の整備・充実に努める。
- 一、「ふるさとの地から世界を見つめ 新しい社会の形成に向けて挑戦する子どもを育てる」教育研究活動を推進するとともに、第六十二回北海道小学校長会教育研究胆振・苫小牧大会の充実と研究成果の交流に努める。
- 一、学校経営の専門職としての積極的な意見表明と情報発信に努める。
- 一、管理職・教職員の人的条件整備や処遇改善及び福利厚生の充実に努める。
- 一、教職員の定数改善のために要望活動の強化に努める。
- 一、北海道小学校長会の組織の強化と活動の充実、活性化に努める。
- 一、東日本大震災や北海道胆振東部地震等の災害からの教育復興を促進するため、被災地の校長との連携と、その活動への継続的な支援、防災教育の推進に努める。

令和元年五月十三日

第六十二回 北海道小学校長会総会・研修会